

歯科健康診査票

実施日 年 月 日

氏名 男 女 年齢 歳(西暦) 年 月 日 生まれ 住所

[ここより以下は、医療機関にてご記入ください] ※記入漏れにご注意ください。

健診所要時間:( )分 実施体制: ① 歯科医師( )人 ② 歯科衛生士( )人 ③ 左記以外( )人

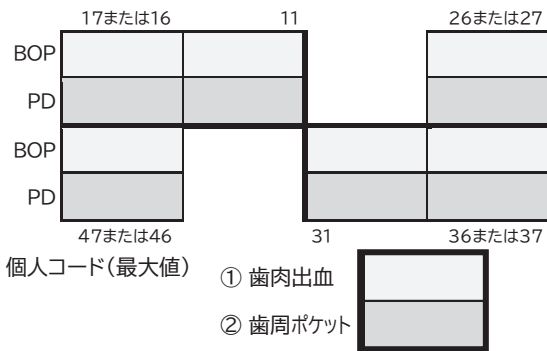
(I) 現在歯・喪失歯の状況 (喪失歯のうち、補綴処置の不要な歯には×を記入)

Table with 28 columns representing teeth 18-28 and 48-38.

Table for dental status: ① 健全歯, ② 未処置歯, ③ 未処置歯(Cのみ), ④ 喪失歯, ⑤ 喪失歯(△のみ), ⑥ 処置歯, ⑦ 現在歯数, ⑧ DMF歯数.

【記入にあたり用いる符号】 健全歯: /, 未処置歯: C, R, RC, 喪失歯: △, 処置歯: ⊕, ⊙. (注) 先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴治療の必要性が認められないものは「×」を記入

(III) 歯肉の状況 ※ 前歯部が欠損している場合は、11→21、31→41を検査対象とする。



【歯肉出血BOP】 0: 健全, 1: 出血あり, 9: 除外歯, X: 該当歯なし. 【歯周ポケットPD】 0: 4 mm 未満, 1: 4・5 mm, 2: 6 mm 以上, 9: 除外歯, X: 該当歯なし

(IV) 歯列・咬合の状況 1. 所見なし 2. 所見あり

(V) 顎関節の症状 1. 所見なし 2. 所見あり

(VI) 口腔粘膜 ① 粘膜の色 1. 所見なし 2. 所見あり

② 粘膜の形状 1. 所見なし 2. 所見あり

(VII) 口腔衛生状態 1. 良好 2. 普通 3. 不良

その他の所見

③ 歯石の付着状況 1. なし 2. 軽度(点状)あり 3. 中等度(帯状)以上

判定区分 ※正確に記入してください

Table with 3 columns: 1. 異常なし, 2. 要指導, 3. 要精密検査. Includes criteria for BOP, PD, and dental status.

[指導内容・目標] 診査者氏名 医療機関コード

※歯科医療機関の方へ

- ・歯科健康診査票の1枚目(歯科医師用)は、医療機関にて保管してください。
・歯科健康診査票の2枚目(請求用)は所定の提出先へ提出してください。
・歯科健康診査票の3枚目(受診者用)を受診者に渡してください。

健診後の予定

- 1. 健診した歯科医療機関にて 指導予定
2. 健診した歯科医療機関にて 精密検査・治療予定
3. 他の医療機関(歯科)を紹介 (紹介先: )
4. 他の医療機関(医科)を紹介 (紹介先: )
5. 未定

歯科健康診査票

実施日 年 月 日

氏名 男 女 年齢 歳(西暦) 年 月 日 生まれ 住所

[ここより以下は、医療機関にてご記入ください] ※記入漏れにご注意ください。

健診所要時間:( )分 実施体制: ① 歯科医師( )人 ② 歯科衛生士( )人 ③ 左記以外( )人

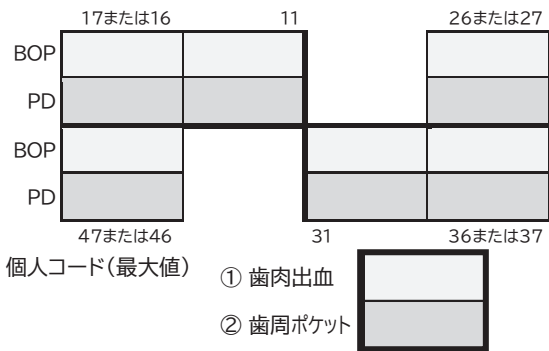
(I) 現在歯・喪失歯の状況 (喪失歯のうち、補綴処置の不要な歯には×を記入)

Table with 28 columns representing teeth 18-28 and 48-58.

Table for dental status: ① 健全歯, ② 未処置歯, ③ 未処置歯(Cのみ), ④ 喪失歯, ⑤ 喪失歯(△のみ), ⑥ 処置歯, ⑦ 現在歯数, ⑧ DMF歯数.

【記入にあたり用いる符号】 健全歯: /, 未処置歯: C, R, RC, 喪失歯: △, 処置歯: ⊕, ⊙. (注) 先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴治療の必要性が認められないものは「×」を記入

(III) 歯肉の状況 ※ 前歯部が欠損している場合は、11→21、31→41を検査対象とする。



- 【歯肉出血BOP】 0: 健全, 1: 出血あり, 9: 除外歯, X: 該当歯なし. 【歯周ポケットPD】 0: 4 mm 未満, 1: 4・5 mm, 2: 6 mm 以上, 9: 除外歯, X: 該当歯なし.

(IV) 歯列・咬合の状況 1. 所見なし 2. 所見あり

(V) 顎関節の症状 1. 所見なし 2. 所見あり

(VI) 口腔粘膜 ① 粘膜の色 1. 所見なし 2. 所見あり

② 粘膜の形状 1. 所見なし 2. 所見あり

(VII) 口腔衛生状態 1. 良好 2. 普通 3. 不良

その他の所見

③ 歯石の付着状況 1. なし 2. 軽度(点状)あり 3. 中等度(帯状)以上

判定区分 ※正確に記入してください

Table with 3 columns: 1. 異常なし, 2. 要指導, 3. 要精密検査. Includes criteria for each category.

[指導内容・目標] 診査者氏名 医療機関コード

※歯科医療機関の方へ

- ・歯科健康診査票の1枚目(歯科医師用)は、医療機関にて保管してください。 ・歯科健康診査票の2枚目(請求用)は所定の提出先へ提出してください。 ・歯科健康診査票の3枚目(受診者用)を受診者に渡してください。

健診後の予定

- 1. 健診した歯科医療機関にて 指導予定 2. 健診した歯科医療機関にて 精密検査・治療予定 3. 他の医療機関(歯科)を紹介 (紹介先: ) 4. 他の医療機関(医科)を紹介 (紹介先: ) 5. 未定

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

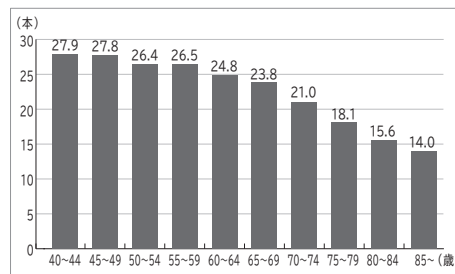
[REDACTED]

歯科健康診査結果票

実施日 年 月 日

様

- ・永久歯は「親知らず」を除くと、通常28本です。
- ・生涯にわたって自分の歯で食べることができるよう、80歳になっても20本以上の歯を保つことを目標にしましょう。歯が少なくなっている方も、今ある歯を生涯にわたって健康に保つことを目標にしましょう。
- ・歯周病は、喫煙などの生活習慣や糖尿病などの全身の病気とも関係があります。
- ・歯周病は重症化すると歯が抜ける原因になりますので、早期発見のためにも、定期的に歯科医院でのチェックを受けましょう。



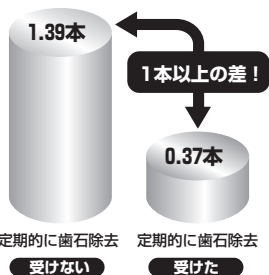
◆上のグラフは、令和4年の各年齢階級における1人平均の現在の歯の数を示しています。ご自分の歯はいかがでしょうか。

出典：令和4年歯科疾患実態調査の結果(概要)(厚生労働省)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10804000/001112405.pdf>  
 ※本資料は上記を基に編集・加工して作成

歯科健診の結果、あなたの歯の本数は  本でした。

《健康まめ知識》

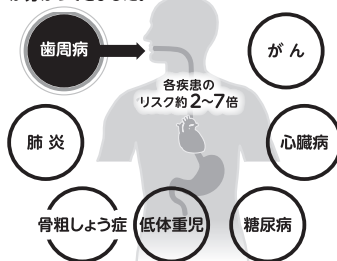
5年間に失った歯の数



成人を対象とした歯周病予防の調査によると、定期的に歯石除去を受けた場合は、受けなかった場合に比べ、5年間で1本以上の歯の喪失防止の効果があることがわかりました。最低でも年1回は歯石を取りましょう。

歯周病と全身の健康との関係

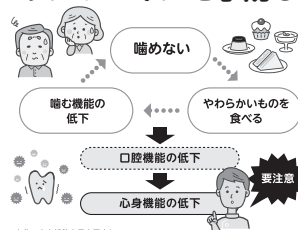
近年、歯周病が全身の健康に影響を与えることが分かってきました。



歯周病は全身疾患と深く関係しています。

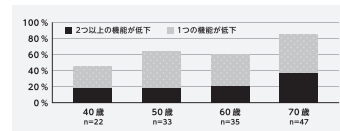
歯周病の炎症による毒性物質が歯肉の血管から全身に入り、様々な病気を引き起こしたり悪化させる原因となります。

オーラルフレイルを予防しよう



出典：東京都健康長寿医療センター

「歯の本数が減る」「消舌が悪くなる」「むせる」など見逃しがちなお口のささいな衰え(オーラルフレイル)は、放っておくと、心身の機能低下にもつながります。



若い世代にも、オーラルフレイルの傾向が見られます。

判定区分

1. 異常なし	2. 歯周病を疑う所見があります	3. さらに詳しい検査や治療が必要な状態です
<p>良い状態です。丁寧な歯みがきを続け、定期健診を受けるよう心がけてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯肉に軽い炎症があります。</li> <li>・ 歯みがき方法について指導を受けましょう。</li> <li>・ 歯周病と、生活習慣や全身の病気との関連について、説明を受けましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯石を取るため 歯科受診しましょう。</li> <li>・ 浅い歯周ポケットがあります。</li> <li>・ 深い歯周ポケットがあります。</li> <li>・ むし歯があります。</li> <li>・ 歯が抜けたままになっています。</li> </ul> <p>生活習慣や基礎疾患等、さらに詳しい検査や治療が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他の所見があります。</li> </ul>

[指導内容・目標]	診査者氏名
	医療機関コード

健診結果は、国や地方公共団体が、結果を集計するなどして今後の皆様の歯と口腔の健康づくりに役立させていただくことがありますのでご了承ください。  
 なお、健診結果は統計的に処理しますので、個人の結果が公表されることはありません。  
 また、健診結果は、厳重に管理し、上記目的以外には使用しません。